令和7年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	美術Ⅱ	学 年	第2学年	学 科 類 科 型	普通科文系
単位数	1単位	教科書	美術2（光村図書）				
副教材							

学習目標	美術Ⅰの学習内容から発展させ、様々な課題に挑戦します。自らの主題を表現する方法を素材・技法・表現意図から生み出す力を身に付けます。
------	---

キャリア教育の視点	美術やデザインが生活の一部となっている現在、美術の楽しみ方は様々だと思えます。基礎となる知識や技術があれば、今までより美術を身近に感じ、自分に合った美術の楽しみ方を発見することもできると思えます。主体的に問題に取り組むことができる感性を磨きましょう。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査	
1 学 期	4月	絵画・彫刻 「テーマを決めた立体制作」	テーマから主題を発想します。	作品提出	
	5月		様々な素材を利用して造形します。		
	6月		アクリル絵の具を使って着彩します。		
	7月		効果を意識した配色を行います。		
2 学 期	8月	鑑賞「作品の鑑賞」 映像メディア「言葉の展覧会」 映像メディア「動画を作る」	完成した作品を全員で鑑賞します。	合評会	
	9月		夏休みに制作した写真をもとに、鑑賞会を行います。	作品の提出	
	10月				撮影した動画や写真をもとに、編集ソフトを利用して動画を制作します。
	11月				
	12月				
3 学 期	1月	相互鑑賞 鑑賞「現代の美術」	完成作品を鑑賞します。	合評会 作品の提出	
	2月		「現在の美術の在り方」について考えます。		
	3月				

学習の方法	A表現は「絵画・彫刻」「映像メディア表現」を行います。自分の生活の中からテーマを見つけて作品を制作します。時間をかけて作品を作るので、よく考えてアイデアを練り、自分に合ったテーマを見つけることが大切になります。B鑑賞は、お互いの作品の良さを話し合ったり、現代における美術の役割などについて考えたりします。
-------	--

評価の仕方	定期考査は行わない。	
	知識・技能	A表現（完成作品、創造的な技能） B鑑賞（ノート、小論文）
	思考・判断・表現	A表現（主題の生成、ラフスケッチ） B鑑賞（鑑賞活動、発表内容）
	主体的に学習に取り組む態度	A表現（活動状況、提出物、発表、作品の工夫） B鑑賞（鑑賞の発表、協働的な活動状況、小論文）

備考	
----	--